

東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

人類に奉仕するロータリー
Rotary Serving Humanity



RI会長 ジョン・F・ジャーム

地域社会に奉仕するロータリー
Rotary Serving Community



クラブ会長 嶋村 文男

◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30

◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)



photo by Allison Kwasell

本日の卓話

ガバナー補佐訪問

「出会いに感謝の一年でした！」

東分区ガバナー補佐・東京葛飾中央RC

鈴木秀史氏

次回の卓話

(紹介者 プログラム委員会)

「イニシエーションスピーチ」

メンバー

橋本豊之君

《3月21日例会報告》

点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

「Birthday Song」



会員誕生日祝い



入会記念日祝スピーチ 小佐田君

職業奉仕3分間スピーチ 今野君

◎ゲスト 1名

田口典彦氏 (東分区IM実行委員長・東京東RC)

◎ビジター 2名

野崎信氏 (東京江戸川RC)

池田正孝氏 (東京江戸川中央RC) 以上3名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
34名	25名	86.21%	100%

会長報告

○東分区IM実行委員長・東京東RC、田口典彦氏よりご挨拶。10月30日(月)開催、東分区IMのご案内。

○第3回新川千本桜祭り開催のお知らせがまいりました。

日時：4月2日(日) AM9:30~PM3:00

式典 PM1:00 (雨天実施)



結婚記念日祝い

会長 ◆嶋村 文男
副会長 ◆城戸 国雄
幹事 ◆鹿倉 勇

会報・雑誌委員会 ◆石橋正男・多田晃弘・一榎靖人・池田真司
事務局 ◆〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
E-mail:e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

会場：新川さくら館及び周辺
主催：新川千本桜の会・江戸川区
お花見和船の運行や模擬店、大江戸玉すだれ、和太鼓、おしゃらく、お茶席等が催されます。

幹事報告

- 本日例会に引き続き、第5回クラブフォーラム(青少年奉仕)開催。
○3月22日(水)PM2:00～ハイアットリージェンシー東京にて、PETS(クラブ会長エレクト研修セミナー)開催。城戸次年度会長出席。
○3月24日(金)PM6:00～向島「千代田」にて、第3回東分区会長幹事会(上山ガバナーを囲む懇親会)開催。嶋村会長、鹿倉幹事出席。
○3月25日(土)PM5:30屋形船「あみ達」集合、観桜会及び米山奨学生モーさんの送別会開催。
PM6:00出発です。当クラブ会員及びご家族18名、モーさん、鶴岡RCより7名の方が参加されます。
—————例会臨時変更のお知らせ—————

3月30日(木)

- ・東京向島RC → 夜間例会(クラブ協議会)
- ・東京ベイRC → 移動例会
(3/28(火)東京江東RCとの合同例会)

3月31日(金)

- ・東京城北RC → 夜間例会(レディスナイト)
- ・東京板橋セントラルRC
→ 夜間移動例会(4/3(月)花見例会)

4月4日(火)

- ・東京葛飾中央RC → 夜間例会(観桜家族会)

委員会報告

<親睦活動委員会(ゴルフ)>

- ・第2回嶋村会長杯結果報告。
- ・RE-5ゴルフ大会、第3回嶋村会長杯について。

《卓話》

3月21日の卓話は、「第5回クラブフォーラム(青少年奉仕)」でした。



日 時：平成29年3月21日(火)PM1:10～

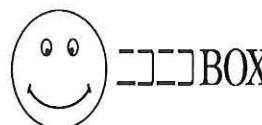
場 所：タワーホール船堀2階「桃源の間」

カウンセラー：岡村君

フォーラムリーダー：岩倉君

出席者：浅井、阿部、石橋、猪野、岩倉、岡村、唐澤、城戸、小内、鹿倉、鹿野、嶋村、鈴木(義)、多田、塚田、永井、橋本、平田、茂手木、森本、安池

(50音順・敬称略) 21名



本日入金…¥ 48,000

今期累計…¥ 758,500

基金合計…¥ 10,839,257

田口氏(東分区IM実行委員長・東京東)

…10/30のインターナショナルミーティングへのお知らせに伺いました。皆様のご参加をお待ち申し上げております。

野崎氏(東京江戸川)…本日も宜しくお願いします。

池田氏(東京江戸川中央)…本日お世話になります。

ニコニコ情報

①本日の卓話は、「第5回クラブフォーラム」(クラブ討論会)です。今日は青少年奉仕について意見を交わし合いましょう。

②第2回嶋村会長杯は、小内さんがベスグロでのぶっちぎり優勝。あっぱれ！

準優勝 鹿倉さん、3位 村山さんでした。

悪天候の中ご参加の皆様有難うございました。

そして大変お疲れ様でした。

小佐田君、鈴木(義)君、阿部君、須賀君、森本君、平田君、岡村君、田中君、橋本君…①②

石橋君…田口さんようこそお出ましいただきました。よろしくご指導下さい。

塚田君…黄色いバラがついていました。有難うございます。

猪野君…東亜物流㈱で職場見学会を行ないました。

森本さんありがとうございました。またご参加の皆様お疲れ様でした。

嶋村君…次年度東分区IM実行委員長・東京東RC田口典彦様ようこそおいで下さいました。

小内さん、念願の会長杯初優勝おめでとうございます。

城戸君…家内に立派な誕生日の花束をいただきました。お礼に行きたいですが見せる顔ではなくなりましたので失礼させました。

鹿倉君…東京東RC田口さんようこそお越し頂きました。いつもありがとうございます。

職場見学会、森本さんお世話になりました。一樹さん、家庭集会お世話になりました。会長杯ゴルフの皆様、風邪引かなくて良かったです！

小内君…第2回会長杯で初優勝させて頂きました。富里GCはデビューしたコースです。同伴の浅井さん、阿部さん、茂手木さんありがとうございました。

安池君…お祝いのお花がついていました。ありがとうございます。今年は新しい出会いの年となりました。この出会いを大切にして新しい一年を送りたいと思います。

計 19名

「会長の時間」のポイント

3月21日 テーマ「ローターアクトについて」

○現在国際ロータリーでは、4つの青少年奉仕プログラムを推奨しています。

①インタークト ②ローターアクト ③RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム：通称ライラ) ④青少年交換

○ローターアクトクラブは18歳から30歳までの青少年男女のためのロータリークラブが提唱する奉仕クラブです。

○ローターアクトクラブの標語は「奉仕を通じての親睦」です。

○1962年インタークトプログラムが宣言され、それを継続する為に、1968年にローターアクトプログラムの発足が認証されました。

○東京東江戸川ローターアクトクラブは、1973年に創立され、一時休会期間がありましたが、2012年7月に活動を再開しました。毎月2回の例会を開催しており、様々な奉仕活動を展開しています。

第2回嶋村会長杯ゴルフコンペ報告

日 時：平成29年3月15日(水)

集合AM8:45 スタートAM9:16

場 所：富里ゴルフ俱楽部

参加者：浅井、阿部、岡村、城戸、小内、鹿野、嶋村、村山、茂手木、鹿倉

(50音順・敬称略) 10名

3月15日(水) 体感気温3°C、体感風速20m、もちろん雨の天気の中、第2回嶋村会長杯ゴルフコンペが千葉県富里ゴルフ俱楽部に於いて行われました。



3月とは思えないほど悪天候の開催で、一時は中止かと思わせましたが、親睦委員長の「やるぞ」の掛け声のもと、10名のメンバーがそれぞれスタート致しました。

やはり雨、風にはかないませんでしたが、違った意味で団結力が増し、打ったボールが風に運ばれる様をみんなで見て、終始にこやかに楽しいゴルフをさせて頂きました。

優勝は小内さん、この悪天候の中なんと95で回り、ぶっちぎりの優勝でした。後は僅差のスコアで2位に鹿倉、3位に久しぶりのご参加の村山さんでした。みなさん大変お疲れ様でした。(風邪ひきに注意)



(記：鹿 倉 勇)

3月 水と衛生月間

【フリントのために立ち上がる②】

発育障害という健康への被害

フリントでのこの新たな問題をメディアが報道した後、「USA Today」紙が環境保護局のデータをくまなく調査し、「(検査した)国の水道システムの20パーセント近くが、15ppbという環境保護局の介入レベルを上回っていた」とことが判明。この報告によれば、2,000近い全国の自治体で、2012年以来、水道水の鉛レベルが高くなっていたことになります。鉛汚染は身体への健康被害をもたらしますが、その兆候はすぐに表れるとは限りません。鉛は発育中の脳に悪影響を与えます。最悪の場合、意識不明、知能発育不全、時には死にいたることもあります。低い摂取レベルでも、IQ低下、反社会的行動、子どもの学習能力や授業適応力の低下といった行動障害を引き起こす恐れがあります。

「幼少期に発育面の遅れが見られ、成長するにつれてそれが顕著になる」とレイノルズさん。「ABCが覚えられない、数字が数えられない、静かに座って授業が受けられない、といった症状が見られます。年長になるにつれ、生活に必要なスキルが身につけられないなど、行動障害が目立つようになります。鉛汚染が大きな問題なのは、このためです。医療従事者、特に子どもの医療に携わる人々は、必死で窮状を訴えています」

特に悲惨なのは、問題の多くは子どもが10代になるまで発覚しないことです。行動障害が鉛汚染のせいであるかどうかを幼少期に知る方法はありません。鉛中毒による結果はもとに戻すことができないため、医療従事者は、鉛を摂取した子どもが18歳になるまでは、鉛中毒による学習障害がひどくならないよう注意して見守らなくてはなりません。

問題の先送りが「負の投資」に

ミシガン大学フリント校(地理・プランニング・環境学部)のマーティー・カウフマン教授によると、市の水道システムのどこに鉛パイプが使われているかをまず調べる必要があります。市の水道配管図が最後に更新されたのは1984年。カウフマン教授のチームは、スキャンされて市のコンピューターシステムに保管されている、鉛筆で手書きの(時に判読不能な)500枚以上の記録カードすべてを調べました。さらに、市の地下を迷路のように走る水道配管図の欠けている部分を解明するために、240もの画像ファイルをつなぎ合わせました。

こうしてカウフマン教授は市内の約4,500の鉛パイプを特定しましたが、そのほかにまだ判明していない

いパイプが4,000カ所あります。これを調べるには、一世紀以上前の工事契約書を見つけなければならない、とカウフマン教授は言います。

現在までに、約30カ所のパイプ除去費を州当局が負担しています。

あまりに長い間メンテナンスを先送りしてきた市幹部の対応は、長期的な「負の投資」だと、被害者の支援団体「Ele's Place」の責任者であるクラグさんは話します。「鉛害の問題はパズルの1ピースにすぎません。住民たちは権利を奪われたと感じ、声を高くして問題を訴えてきました。住民が水質汚染について叫びはじめたときも、当局者たちは無視し続けていました」

地元活動家たちの取り組み

現在、地元の活動家たちが鉛を除去するための大規模な取り組みをはじめています。ロータリーやその他の地元団体が、寄付を募り、被害者支援のための補助金を支給し、説明責任を明確にし、地元住民への援助を行っています。

I2015年9月には、ロータリアン、ジェイミー・ガスキンさんが、アティシャさんらこの問題に取り組む専門家とともに、血中鉛濃度のデータを地域社会に公表しました。

「この危機に私たちはいち早く取り組みました」とガスキンさん。「記者会見を行った日の午前中に水運搬トラックを購入し、地元のおむつ配給システムと提携しました。データを見て、最も被害を受けやすい年代に安全できれいな飲用水を届ける必要があると気づいたのです」

人びとが結束する姿に感動を覚えた、とクラグさんは言います。「失敗もたくさんありましたが、懸命に助けようとする多くの人もいました」

ほかのロータリークラブからも寄付が寄せられ、その中には、2012年に竜巻被害を受けたミシガン州デクスターのクラブや、寄付を渡すために会長がフリントまで足を運んだナッシュビル(テネシー州)のクラブもありました。

「ロータリーには思いやりある人が集まり、しかも、さまざまな水問題を既に理解しています」とガスキンさん。これまで彼のクラブで水問題について話し合うことは多かったものの、それはほかの国の問題であり、フリントで実際に水汚染問題が起るまで、地元には目を向けていませんでした。「データで問題の深刻さが明らかになるにつれ、ロータリアンは自分が所属する教会や市民団体、そして職場で、この問題への対応を呼びかけるようになりました」

(R I ホームページより抜粋)